

ベトナムへの協力について

ベトナム商工省と政策対話が実施されました。

平成30年12月5-7日にベトナム商工省化学品庁(VINACHEMIA)と経済産業省化学物質管理課との間でワークショップ及び政策対話を実施されました。^{*1}

NITEは、化審法リスク評価手法、GLPデータの相互受け入れ等について情報提供してきました。また、今後の協力内容に関する議論をしました。

*1：2015年に経済産業省とベトナム商工省が締結した覚書（MOC）に基づくもの。

詳細は、こちら (https://www.nite.go.jp/chem/kanren/asia_kanren/bilateral.html)



VINACHEMIAからは、以下の情報を提供いただきました。

- 国家化学品リスト（NCI）ドラフト第4版の作成作業に入る段階。
- NCI（正式版）の公開前には企業等の意見を聞く必要があり、企業からの物質の追加は可能。NCI正式版の公開と同時に新規物質の届出方法についても公開される予定。
- 化学品法（2007年）は、施行時から状況も変わり課題も出てきているため、改正作業に入りたいと考えている。

* ベトナム国家化学品データベース（NCDB）の公開記念式典

- * 12月6日にベトナム商工省において、国家化学品データベースの公開記念式典が開催されました。
- * 本データベースの構築には、日本の経済産業省と国際協力機構（JICA）が協力してきました。NITEも、ワークショップ等を通じて技術的な支援を行ってきました。
- * 本データベースには、日本から提供した情報（NITE-CHRIP掲載情報）も含まれており、日本のGHS分類結果も掲載されています。
- * 企業がデータベースを活用することで、法令への対応等が簡素化されることが期待されています。

NCDB: http://cuchoachat.gov.vn/default.aspx?page=news&do=detail&category_id=43&id=4381